



# MAX REPORT

株主のみなさまへ

## 85期報告書

自平成27年4月1日 ▶ 至平成28年3月31日

## 経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ  
皆揃って成長していく集団を目指す

### 1. ガラス張りの経営に徹する

連結決算を重視し、一般に公正妥当な会計基準に基づき、企業の方針、業績、実態を適時・適切に社内外に公開してまいります。

### 2. 全員参画の経営に徹する

社員は仕事を通して積極的に経営に参加し、それぞれの役割の中で事業成果を拡大してまいります。

### 3. 成果配分の経営に徹する

結実された成果は、「株主」「社員」「社会」に公正に配分してまいります。

## 86期経営方針

お客様本位と事実主義を活動原点に定め

### 1. 成長事業の確立 2. 収益力の強化 3. 自ら考え、行動を起こす

経営基本姿勢・経営方針	1	セグメント別の概要	5・6
株主のみなさまへ	2	次期事業計画について	7・8
財務ハイライト	3	会社情報/株式の状況	9
連結財務諸表	4	利益配分に関する基本方針/配当/株主メモ	10

※本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、①成長分野への投入シフト②消耗品ビジネスの再構築③設備投資・拠点再編によるコストダウン④新規技術領域の探索と深耕の4つの基本戦略を実行することで持続的な成長を図り全社収益の向上を目指してまいります。

## ご報告

### 当期の概要について

当期(平成28年3月期)におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により企業業績の伸長が続き、雇用や所得環境が改善するなど緩やかな景気回復基調で推移しました。当社事業に影響を与える国内新設住宅着工戸数は、平成26年4月に行われた消費増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が減少したこと、政府が打ち出した住宅取得支援策の下支えにより、持ち直しの動きが見られました。海外では、米国経済は個人消費や住宅投資が好調に推移し、緩やかな成長が持続したことで当社事業に好影響を与えました。しかし、欧州経済は一部の国々では緩やかな回復となったものの全体としては低水準の成長に留まり、アジア新興国の一部や中国では経済成長が減速するなど、当社を取り巻く事業環境は先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で当社グループは、『1. 成長事業の確立 2. 収益力の強化 3. 自ら考え、行動を起こす』を当期の経営方針として掲げ、その実現に向けて①成長分野への投入シフト②消耗品ビジネスの再構築③設備投資・拠点再編によるコストダウン④新規技術領域の探索と深耕の4つの基本戦略を実行することで持続的な成長を図り全社収益の向上を目指してまいりました。

この結果、売上高は665億1千万円(前期比2.4%の増収)、営業利益は58億8千3百万円(同11.2%の増益)となりました。経常利益は57億9千2百万円(同2.5%の減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は35億1千2百万円(同9.0%の増益)となりました。

### 今期の見通し

国内では雇用・所得環境の改善から経済全般としては緩やかな回復基調が継続することが想定されます。海外においては、米国・欧州経済は安定した成長の継続が見込まれるものの、資源価格や通貨の下落の影響でアジア新興国経済は成長が鈍化する可能性があるなど、当社グループをとりまく事業環境は依然として予断を許さない状況となる見通しです。

このような状況下で当社グループは、当期の経営方針として、お客様本位と事実主義を活動原点に定め「成長事業の確立」、「収益力の強化」を掲げております。この経営方針に則り、事業課題を達成するための取り組みを継続実行していくことで、国内外の成果拡大に努めてまいります。

次期の売上高は694億円(前期比+4.3%)、営業利益は60億円(同+2.0%)、経常利益は61億5千万円(同+6.2%)、親会社株主に帰属する当期純利益は40億円(同+13.9%)を計画しています。

今後とも株主のみなさまには、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年6月

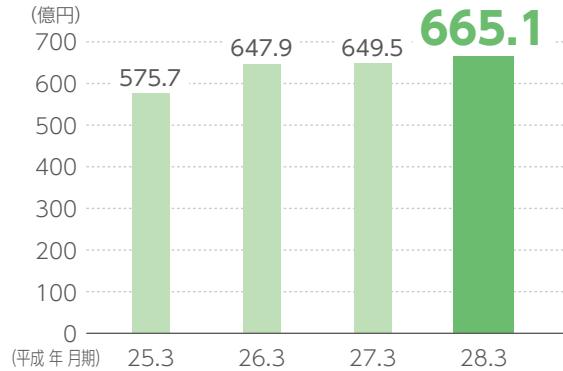
代表取締役社長

川村八郎



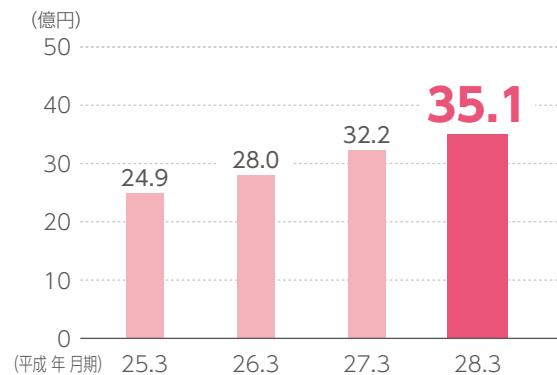
## 連結損益計算書の概要

### 売上高



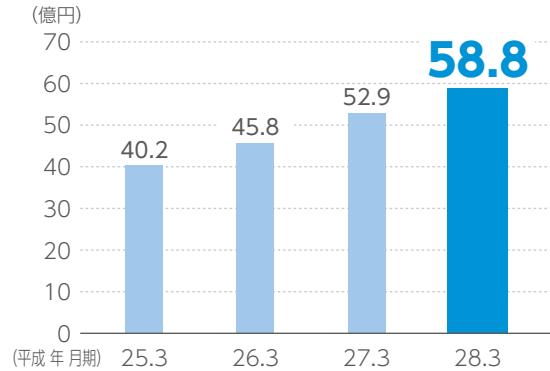
日本や米国の経済の回復基調を背景に、国内外の機工品事業や住環境機器事業が牽引し、増収となりました。

### 当期純利益(\*)



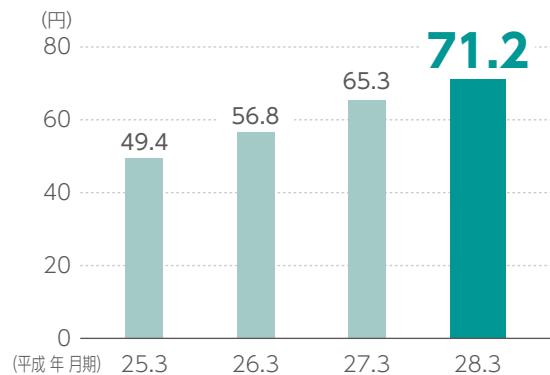
外貨建て資産等の為替差損が発生したものの、2.9億円の増益となりました。

### 営業利益



営業利益は増収とコストダウンの進捗により増加し、営業利益率は8.8%と前期実績の8.1%から伸長しました。

### 1株当たり当期純利益(\*)



当期純利益の増加により、前期の65.3円から71.2円に増加しました。

(\*)当期(四半期)純利益とは、「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」を指します。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (皇 平成26.4.1) (皇 平成27.3.31)	当連結会計年度 (皇 平成27.4.1) (皇 平成28.3.31)
売上高		64,950	66,510
売上原価		40,264	41,083
売上総利益		24,686	25,426
販売費及び一般管理費		19,395	19,543
営業利益		5,290	5,883
営業外収益		784	341
営業外費用		135	432
経常利益		5,939	5,792
特別利益		21	142
特別損失		585	225
税金等調整前当期純利益		5,375	5,710
親会社株主に帰属する当期純利益		3,222	3,512

### Point

- 1 現金及び預金が増加したことなどにより、流動資産が増加しています。
- 2 未払金や未払法人税等が減少したことなどにより、流動負債が減少しています。
- 3 外貨建て資産等の為替差損(前期は差益)が発生したことにより、経常利益は減少しています。
- 4 有価証券及び投資有価証券の取得による支出が前期に比べ減少しています。
- 5 営業活動によるキャッシュ・フローに対して、投資活動によるキャッシュ・フローの支出が減少したことなどにより、増加しています。

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (平成27.3.31現在)	当連結会計年度 (平成28.3.31現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産		43,354	44,693
固定資産		45,236	44,134
有形固定資産		17,714	17,298
無形固定資産		955	717
投資その他の資産		26,566	26,118
資産合計		88,590	88,828
<b>負債の部</b>			
流動負債		12,638	11,519
固定負債		10,456	13,045
負債合計		23,094	24,565
<b>純資産の部</b>			
株主資本		65,434	66,277
その他の包括利益累計額		△ 54	△ 2,126
少数株主持分		116	112
純資産合計		65,495	64,263
負債・純資産合計		88,590	88,828

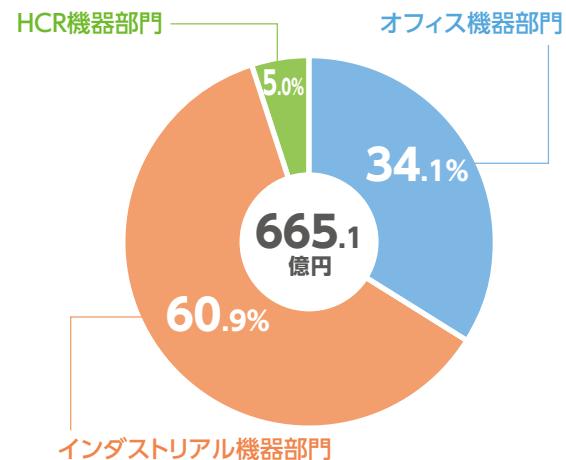
## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

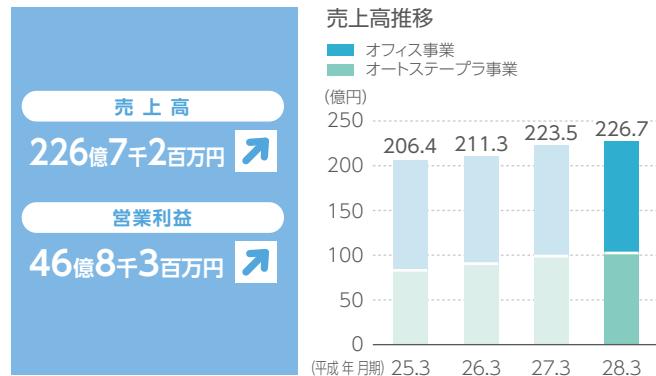
科目	期別	前連結会計年度 (皇 平成26.4.1) (皇 平成27.3.31)	当連結会計年度 (皇 平成27.4.1) (皇 平成28.3.31)
現金及び現金同等物の期首残高		11,025	15,343
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,713	5,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,275	△ 570
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,025	△ 2,068
現金及び現金同等物に係る換算差額		373	△ 392
現金及び現金同等物の増減額		3,786	2,439
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		531	-
現金及び現金同等物の期末残高		15,343	17,783

# セグメント別の概要

## ● 平成28年3月期売上高構成比



## ■ オフィス機器部門



### オフィス機器部門

- ・ オフィス事業は、主力のホッチキスをはじめとした文具や事務機械を通じてオフィスワークをサポートしています。
- ・ オートステープラ事業は、複写機メーカーに搭載される電子ホッチキスおよび消耗品を供給しています。

### インダストリアル機器部門

- ・ 機工品事業は、主力の釘打機をはじめとした木造建築用の工具、コンクリート構造物向けの建設用工具などを販売しています。
- ・ 住環境機器事業は、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システムなどを通じて、住まいの快適環境づくりを提案しています。

### HCR機器部門

- ・ 車いすや歩行器など移動機器の供給を通じて、高齢者の自立生活を支援しています。

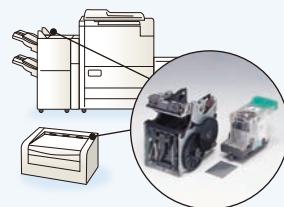
### オフィス事業

国内はホッチキスの新製品を発売したものの、文具関連の販売が減少しましたが、表示作成機「ビーポップ」の拡販などにより、前期水準並みとなりました。海外は、欧州各国において、ビーポップの新製品投入効果などにより、増収となりました。



### オートステープラ事業

欧米経済の緩やかな回復により複写機市場が堅調に推移し、増収となりました。



### 機工品事業

国内はコンクリート構造物向け工具の伸長が鈍化しましたが、木造建築用工具の消耗品販売の伸長などにより、増収となりました。海外はコンクリート構造物向け工具や木造建築用工具がともに増加したことなどにより、増収となりました。



### 住環境機器事業

床暖房システムの販売が減少しましたが、主力の浴室暖房換気乾燥機を戸建住宅向けに拡販したことにより、事業全体で増収となりました。

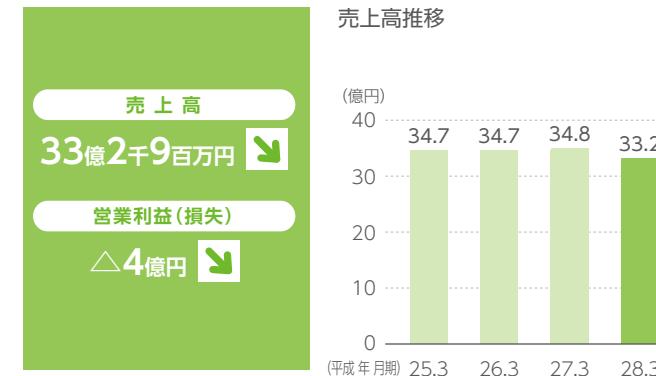


### HCR機器部門

営業活動を大手レンタルルート向けに注力したものの、車いすの販売が減少したことにより、減収となりました。また、為替レートが前年に対し、円安となった影響により製造コストが上昇し、営業損失が増加しました。

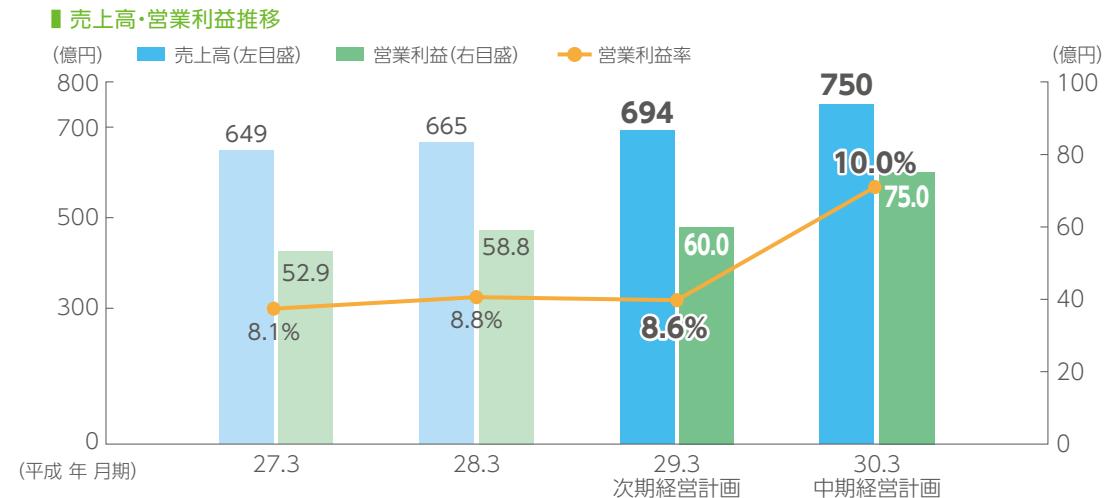


## ■ HCR機器部門



## ■ 経営戦略の基本的な考え方

お客様本位と事実主義を活動原点に定め、「成長事業の確立」と「収益力の強化」



## ■ 次期及び中期経営計画指標

	前期 (平成27年3月期)		当期 (平成28年3月期)		次期 (平成29年3月期)		中期 (平成30年3月期)	
	実績	増減率 (%)	実績	増減率 (%)	計画	増減率 (%)	計画	H30/H28 平均伸長率 (%)
売上高 (億円)	649	0.2	665	2.4	694	4.3	750	6.2
営業利益 (億円)	52	15.4	58	11.2	60	2.0	75	12.9
売上高営業利益率 (%)	8.1	-	8.8	-	8.6	-	10.0	-
経常利益 (億円)	59	23.1	57	△2.5	61	6.2	76	14.5
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	32	14.7	35	9.0	40	13.9	48	16.9
1株あたり当期純利益 (円)	65.37	-	71.27	-	81.24	-	97.38	-
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	5.1	-	5.4	-	5.8	-	6.8	-

## ■ 目標達成のために

### オフィス機器部門

#### オフィス事業

- ・国内では、創業事業であるホッチキスにおいて、金属・非金属材料を使用する機械本体と消耗品の事業成長を目指します。また、表示作成機「ビーポップ」を顧客の使用現場の用途にあわせ提案し、事業を拡大させていきます。
- ・海外では、アジア市場の新規開拓国において販売ルート・チャネルの強化により、ホッチキスのシェア拡大に取り組みます。また、文字表示事業では、英国ライトハウス社のマーケティング手法を活用し、欧州・北米・アジアの3極で市場拡大を図ります。

#### オートステープラ事業

- ・出荷先である複写機メーカーと「デザインイン」活動により連携を深め、新製品の開発・新市場の開拓に取り組みます。



### インダストリアル機器部門

#### 機工品事業

- ・国内では、市場環境の変化に対応するためエリアマーケティングで市場を捉え、顧客への活動を最大化させることで、釘打機やエアコンプレッサなどの木造建築物向け工具の販売拡大に取り組みます。また、コンクリート構造物向け工具は複数市場での拡販を継続し、現場の問題解決を図ることで普及拡大を進めていきます。
- ・海外では、欧米市場において販売チャネルの構築を継続し、コンクリート構造物向け工具の普及拡大を図ります。また、ガスネイラや高圧釘打機の消耗品ビジネスの再構築を目指します。

#### 住環境機器事業

- ・主力製品の電気式浴室暖房換気乾燥機を軸に有力顧客・市場向けに複数製品を提案し事業拡大を図ります。また収益性向上のため、基本設計や部品の共通化を進めるとともに生産性を高め、原価削減に取り組みます。



### HCR 機器部門

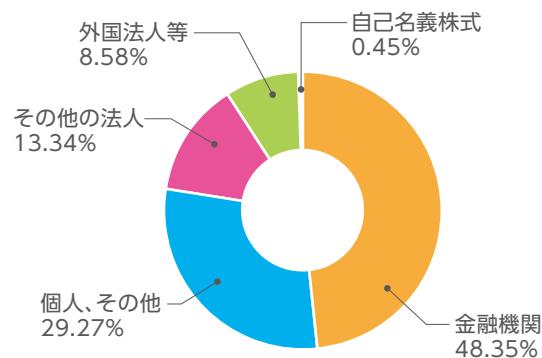
- ・グループ会社である(株)カワムラサイクルにおいて、車いすの生産性改善を進め、製造コストダウンによる収益性改善を最優先に取り組みます。
- ・加工設備の自動化や品目統合による仕掛在庫等の削減、生産リードタイム短縮により効率化を図ります。
- ・営業活動では売上拡大に向け、販売ルートへの営業工数配分を見直し、効果的な活動を行っていきます。
- ・「自立支援」「在宅」の動きにあわせ、高機能商品を投入し、収益力強化を図ります。



## 会社概要 (平成28年3月31日時点)

商号：マックス株式会社  
 本社：東京都中央区日本橋箱崎町6番6号  
 設立：昭和17年11月26日  
 資本金：123億6千7百万円  
 従業員：2,681名  
 グループ会社：連結子会社22社  
 (国内10社、海外12社)

## 株式分布状況 (所有者別株式数比率) (平成28年3月31日時点)



発行可能株式総数: 145,983,000株  
 発行済株式の総数: 49,500,626株  
 株主数: 4,239人

## 取締役・執行役員 (平成28年6月29日時点)

代表取締役社長	川村 八郎	上席執行役員	中野 俊和
専務取締役上席執行役員	塩川 博	上席執行役員	加藤 賢二
常務取締役上席執行役員	樋口 浩一	主幹執行役員	岸 信夫
常務取締役上席執行役員	黒沢 光照	主幹執行役員	浅見 泰
取締役 監査等委員	梅沢 宏	主幹執行役員	角 芳尋
取締役 監査等委員(社外)	畠山 正誠	執行役員	斎藤 篤
取締役 監査等委員(社外)	平田 稔	執行役員	小鯛 富雄
		執行役員	小川 辰志
		執行役員	佐原 隆
		執行役員	飯島 裕治

## 大株主 (上位10位まで) (平成28年3月31日時点)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	8.70
日本生命保険相互会社	3,762	7.64
マックス共栄会第一持株会	3,704	7.52
マックス共栄会第二持株会	2,883	5.85
株式会社みずほ銀行	2,344	4.76
株式会社群馬銀行	2,114	4.29
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,296	2.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,206	2.45
マックス従業員持株会	1,112	2.26

※持株比率については、自己株式222,798株を控除して算出しております。

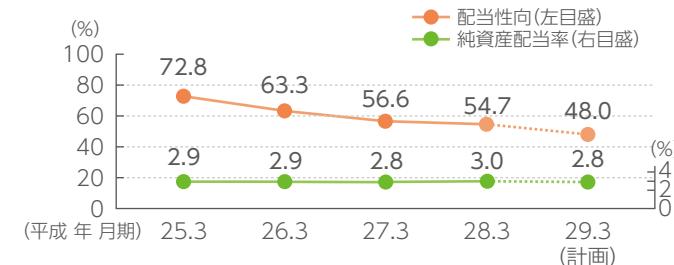
## 利益配分に関する基本方針/配当

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、事業の成長を図り、事業利益を追求することにより自己資本当期純利益率(ROE)を向上させ、業績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

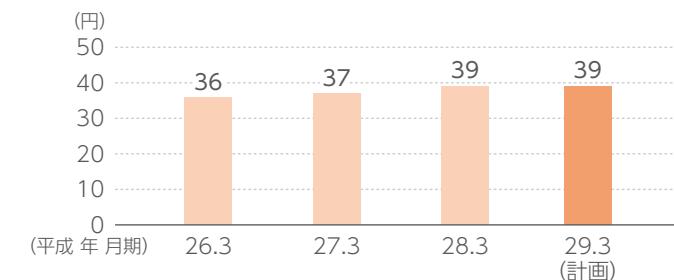
当社の配当政策は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率2.5%を目指す」と定めています。

当期の配当につきましては、事業収益が堅調に推移するなか、株主のみなさまからのご支援にお応えするため、前期から2円増配の「1株当たり年間配当金39円」とさせていただきます。

## 配当性向/純資産配当率の推移



## 1株当たり配当金の推移



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 其他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。  
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先 ☎ 0120-782-031 インターネットホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
 単元株式数 1,000株  
 公告の方法 当社ホームページに掲載いたします。<http://www.max-ltd.co.jp/>  
 ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 上場証券取引所 東京

<http://www.max-ltd.co.jp/ir/> 本社 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 TEL.(03)3669-0311(代)

# 第6回 マックス 「心のホッチキス・ストーリー」

## 入賞作品が決定!

ホームページにて、「心のホッチキス・ストーリー」と題して、「あなたが今“心のホッチキス”を使ってとどめておきたいこと」を公募し、厳正な選考の結果、受賞作品を決定しました。

### 応募作品の傾向

「心のホッチキス・ストーリー」は回を重ねるごとに応募数を更新し、第6回目となる今回は、前回に比べて2,080件増え、7,856件もの応募を頂きました。最年少は4歳、最年長が88歳と幅広い年齢層から、家族や友達だけではなく、近隣の人々や毎日の通学・通勤で顔を合わせる人など、さまざまな人とのつながりを描いた作品が多く寄せられました。

大賞は、慣れない土地に移り、最初は水が合わないと感じていましたが、あることをきっかけに近所の人たちの優しさに触れ、その土地の温かさに気づく心情を描いた作品です。光景が目に浮かび、読んでいて思わず笑顔がこぼれるエピソードでした。

今回の企画が、みなさまの心にある幸せを思いおこすきっかけになれば大変嬉しく思います。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。  
[https://wis.max-ltd.co.jp/event\\_op](https://wis.max-ltd.co.jp/event_op)



※他の受賞作品もご紹介しています。



### マックス・心のホッチキス大賞

#### 大阪府 女性 34歳 にやもにん さん

大阪は、水が合わない。

夫の転勤で移住し、すぐにそう思った。関西弁が標準語なのだ。エスカレーターは右寄り。大げさなクラクション。「ノリ、ツッコミ」社会。これはムリ。付き合いは、必要最低限と決めた。そのうち、息子が生まれた。一歳半で早朝の公園デビュー。

息子は「わんわん」と友達になり、私も年配のママ達と顔見知りになった。

ある日、事件が起きた。

朝、夫をマンションの外まで見送った私達は、そのまま締め出された。

夫が誤って施錠したのだ。こんな時に限って、携帯も財布もない。

息子に至ってはパジャマ。

その時、「わんわん、行く」と息子が言った。

その手があったかと、公園に向かう。

「あ、レン君や」いつもの笑顔があった。

事情を話して携帯を借りるが、夫に繋がらない。

その間、飲み物を買ってくれた人がいた。小銭入れを手渡してくれる人もいた。

マンションに戻った私達の元へ、食べ物運んでくれた人、夫の職場まで車を出してくれた人。

胸がいっぱいになった。翌早朝、夫とお礼に向かう。

「私も転勤族だったし、分かるから」「いつかあんたも、誰かを助ければええ」

「大阪も悪くないやろ？」笑い声は高らかだった。

「こっちじゃ、そこまですないなあ」と、実家の父は驚いた。

息子は今、お隣のおじちゃんが釣ってきた太刀魚のお刺身を食べている。

未だに関西弁は耳慣れない。でも、大阪の水も悪くない。



### マックス・U-18大賞(高校生の部)

#### 静岡県 男性 18歳 電車 さん

「いってらっしゃい」

私が毎日利用しているバスの運転手さんが降りるときにかならずいってくれる言葉だ。本当に、本当ににげない言葉なのだけれど、いつも元気がもたらされた。しかし、毎日この言葉をきいていると、いつしかそのままその言葉を聞き流してしまうことが増えた。当たり前なことだと慣れてしまっていたのだ。

ある日、バスが二十分も遅れて到着したことがあった。そのとき私はバスの遅れたらだから、怒ったようにしてバスをとびだしてしまっただけだった。この日は何事も全くとまらなかつた。

次の日バスを降りるときに、「昨日はごめんな。」と運転手さんが言ってくれた。

そのとき、私は思い出した。私がどんなときでも優しく「いってらっしゃい」と声をかけてくれていたことを。それを一回遅れたくらいで感謝の気持ちを忘れてしまっていた自分がとても恥ずかしく思えた。

だから私は「いつもありがとうございます。」と笑って答えた。

私は今もそのバスを利用しているが運転手さんの「いってらっしゃい」は今もぼくの心の支えになっている。



印刷時に、VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷です。



CO<sub>2</sub>を排出しないグリーン電力を一部使用している工場です。



石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)に基づいた、読みやすい文字デザインを使用しています。